

(公財)大野からくり記念館 中期目標

(実施期間 令和3年度～令和7年度)

令和3年3月 策定

1 団体(施設)の設立目的

江戸時代末に金沢市大野町に住み活躍した科学技術者で、からくり師でもあった「大野弁吉」の業績を顕彰するとともに、近代科学技術のあけぼのを代表する「からくり」を収集・展示することにより、地域文化の振興を図ることを目的としています。

2 団体の果たすべき役割

からくりの歴史に関する資料や大野弁吉の作品、現代のからくり人形師の作品の展示、からくり人形の実演を行い、日本独特の文化として花開いた「からくり世界」について、県内外の方々に鑑賞の場を提供していきます。

また、地元の協力を得て、それらを収集・修復・保存し、文化普及活動に取り組み、我が国の特色ある文化として後世に伝えていきます。

3 事業内容

(1) 展示活動

①常設展示では、「からくりの歴史と魅力」、「大野弁吉の技術」などのテーマに沿った所蔵品を展示するとともに、パネルや模型、映像などを駆使し、見て触れて楽しみながら、からくりの歴史や魅力、大野弁吉の業績などを学べるようにしています。

また、「創作からくりパズル」を多数展示し、手を触れて謎解き体験ができます。

②企画展示は、年に数回テーマを設定して開催しています。

③1日に4回、時刻を決めて茶運び人形の実演を行っています。

また、年に2回、県外よりからくり人形師を招き、珍しいからくり人形の実演を行っています。

④子供からくり体験棟では、幼児・児童向けの楽しい木製おもちゃで遊ぶことができます。

(2) 普及活動

①年20回ほど、親子でものづくりに挑戦する「親子体験教室」を開催しています。

②地域との連携を大切にし、地元住民で組織される「からくり楽会」や「大野からくり記念館地元協議会」から様々なご意見やご支援をいただくとともに、大野町小学校の児童を対象に「大野弁吉からくり検定」を実施し、地元の行事には「からくり人形の出前実演」を実施しています。

(3) 収集・保存活動

貴重なからくり人形等の収集・保存をしています。

4 現状と課題

(1) 利用促進について

- ・これまで毎日数回実施してきた「からくり人形の実演とその解説」は、入館者から好評価（アンケートの満足率98%）を得てきました。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、からくり人形の定時実演を中止しており、再開に当たっては、3密回避などの対策を徹底した上で、人形実演を楽しんでいただきます。
- ・子どもからくり体験棟も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在閉鎖しており、再開に当たっては、消毒や3密回避等の感染症対策を徹底することで、子育て世代などの来館者が安心して楽しめるよう努めます。
- ・密集を避けるために、令和2年度は「創作からくりパズル」の展示の間隔を空ける（数を減らす）工夫をしましたが、一方でパズルへの挑戦意欲や満足感を損なわないよう、新作パズルの計画的な購入などに努めます。
- ・常設展示では、多くの方に繰り返し足を運んでいただけるよう、大野弁吉の作品をテーマに沿って計画的な展示品の入れ替えに努めます。
- ・企画展示では、地元作家の「メルヘン色彩画展」、地元大学の「ロボットの成り立ち～基本から先端まで～」、東京を活動拠点としているからくりクラブの「江戸おもちゃ展」など、多くの企画展示を行っており、今後もより一層内容を充実させるとともに新規企画の開拓に努めます。
- ・特別企画として年に2回、県外よりからくり人形師を招き、「弓引き童子」、「段返り人形」など珍しい人形の実演をしており、今後もこの取り組みを継続し、多くの方からからくり人形の魅力を知っていただけるように広報活動に努めます。
- ・外国人向けに英語版パンフレットを配布しているが、展示品についての解説が不十分であるため、英語解説の充実を図り、サービス向上に努めます。
- ・令和2年6月にオープンした金沢港クルーズターミナルとは、互いにパンフレットを設置しており、利用客増加に向けてさらなる連携強化に努めます。

(2) 団体運営の効率化について

清掃業務などの業者選定に当たり、適正な入札を行うなど、経費の節減に努めるとともに、職員のさらなる資質向上も目指します。

5 中期目標

(1) 中期目標

- ① 利用者数を5年間で35,000人にします。
- ② 利用者アンケートによる満足度を引き続き99%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値	中間目標値 (R5)	最終目標値 (R7)
① 利用者数	17,000人 (R2実績見込み)	27,800人	35,000人
② 利用者アンケートによる満足度	99% (H29~R1の平均)	99%以上	99%以上

※R2は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/11~5/27まで休館

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 利用促進に向けた取り組み

- ・コロナ禍においても、茶運び人形の実演を行えるように、実演方法などを検討するとともに、子どもからくり体験棟は、開館時間や展示するからくりおもちゃの数などを工夫して、再開を検討していきます。
- ・展示してある「創作からくりパズル」を定期的に入れ替えるとともに、興味を持てるように解説図を提示します。
- ・常設展示の大野弁吉の作品を計画的に入れ替えます。
- ・常設展示の解説や米林八十八の口上の英語ちらしを置くなど、外国人へのサービス（満足度）向上に取り組めます。
- ・子どもたちに、大野弁吉の業績を理解し、地元への愛着を深めてもらうために、「大野弁吉からくり検定」を充実させていきます。
- ・新たな入館者の獲得に向けて、インスタグラムの内容の充実など、広報活動を強化します。
- ・シェアサイクル「まちなり」など、自転車利用者のための駐輪場を整備します。
- ・今後も引き続き来館者アンケートを実施してニーズを把握し、サービス向上に努めていきます。

(2) 団体運営の効率化に向けた取り組み

職員の資質向上を図り、業務の点検・見直しを行うなど、引き続き経費の節減・業務の効率化に努めます。

参考資料(団体の概要)

1 団体の基本的情報

団体名	(公財) 大野からくり記念館
所在地	金沢市大野町4丁目甲2番29
設立年月日	平成7年3月31日
代表者	理事長 山本 晴一
県所管課	県民文化スポーツ部文化振興課
設立に係る根拠法令等	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律
団体の沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 8年4月 大野からくり記念館開館 ・平成12年7月 子どもからくり体験棟オープン ・平成24年 公益財団法人に移行 ・平成29年1月 開館20周年記念式典挙行

2 出資者、出資額等

出資者	出資額(千円)	比率(%)
県	5,000	40.8
団体・個人(340件)	7,240	59.2
基本財産(資本金)計	12,240	100.0

3 役職員の状況

(単位:人)

常勤役員	0	常勤職員	3
うち県OB	0	うち県OB	2
うち県派遣	0	うち県派遣	0
非常勤役員	18	非常勤職員	1
役員 計	18	職員 計	4